

海上コンテナ運賃 総合指数が続落

[FreshPlaza 2025年7月4日](#)

ドリュエリー社のコンテナ指数は5.7%下落し、40フィートコンテナ当たり2,812ドルに

ドリュエリー社世界コンテナ指数(WCI)の総合指数は3週連続で下落し、今週は5.7%下落した。この減少は、米国向け貨物の需要が低いことの直接的な結果であり、米国の関税引き上げの一時的な停止の後に発生した最近の米国の輸入の急増が、当初予想されたほどの持続的な影響を及ぼさないことを示している。

上海からロサンゼルスへのスポット運賃は、この1週間で15%下落して40フィートコンテナ当たり(以下同じ)3,180ドルとなったが、8週間前(5月8日)と比較すると依然として17%も大幅に上昇している。同様に、上海からニューヨークへのスポットレートは、この1週間で11%下落して5,070ドルとなったが、過去8週間で39%上昇した。ドリュエリー社は、過剰な輸送キャパシティと需要の低迷により、来週もスポット運賃が引き続き低下すると予想している。

上海からジェノヴァへの運賃は9%減の3,751ドル、上海からロッテルダムへの運賃は8%上昇して3,468ドルとなった。

ドリュエリー社のコンテナ予測は、2025年の後半には需給バランスが再び軟化し、スポット運賃が低下するとしている。運賃の変動幅や変動のタイミングは、トランプ大統領の関税の今後の動向と、中国船舶に対する米国の制裁導入に関連する輸送キャパシティの変化に左右されるが、これらは不確実である。

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)

中国でブドウ品種の知的財産権の維持に成功

[FreshPlaza 2025年7月7日](#)

ブルームフレッシュ社がブドウ品種の権利保護のため中国での法的勝利を獲得

ブルームフレッシュインターナショナル社は2025年7月、スイートグローブ™及びスイートアース™の商品名で販売されているブドウ品種 IFG 10に関する権利侵害訴訟で、中国での知的財産権を維持することに成功した。国際果蔬(青果物情報サイト)が伝えるブルームフレッシュ社のプレスリリースによると、山東省で操業している無許可の栽培者は、違法に植えられた苗木を破棄し、同社に対し多額の賠償を支払うことを命じられた。

侵害者は、ブルームフレッシュ社の登録商標及び植物新品種育成者権を侵害し、「玲珑(璫)星光」(英訳名: Exquisite Starlight)という名称でブドウを販売していた。この訴訟は、法的手段を通じて権利を有する品種と商標を保護するという同社の揺るぎないコミットメントを反映している。

ブルームフレッシュ社の品種のラインアップには、IFG 6(スイートサファイア™)やIFG 22(キャンディドリーム™)等の同社が権利を有する他の品種も含まれている。同社の法務チームは中国において、また国際的に、知的財産の無断使用を引き続き監視し、侵害行為に対しては迅速な措置を講じる。

広報担当者は、この訴訟の結果は、違法栽培に対するブルームフレッシュ社のゼロトレランスアプローチ(一切容認しない取組み)を強化し、消費者の信頼と市場の健全性を保護しつつ、認可された栽培者を支援する同社の責任を強調するものであると指摘した。

出典: 国際果蔬

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)